

令和4年度 幼児教育事業の実施状況について

| 名称 | 月日 | 参加者・対象 | 内容 |
|---------------------------------|------------------------------|--|---|
| 幼児教育審議会 | 第1回 7月25日(月) 第2回 1月25日(水) | 幼児教育に関する知識経験者、保幼認小代表、保護者 | 令和4年度の幼児教育事業計画の報告を行った。 今後の幼児教育振興プログラムに基づく幼児教育事業について協議・検討を行った。 |
| 幼児教育研究協議会 | 第1回 7月15日(金) | 保幼認小代表 | 保幼認小義の接続について、課題について協議・検討を行った。 |
| | 第2回 10月21日(金) | 保幼認小代表 | 「学校関係者が幼児教育施設を観る場」「幼児教育関係者が学校を観る場」の充実について協議・検討を行った。 |
| | 第3回 2月17日(金) | 保幼認小代表 | 令和4年度の幼児教育事業計画の経過報告と、令和5年度事業計画を決定する。 |
| 保育所・幼稚園・認定こども園園長会 | 第1回 5月11日(水) (リモート含む) | 保幼認の園長 | 特に、保育等訪問支援事業について福祉課から説明を行った。実際に利用している保育所と幼稚園が感想を発表する場を設定し、事業内容について周知を図った。利用園も増え、現在市内22園が利用している。 |
| | 第2回 11月10日(木) (リモート含む) | 保幼認の園長 | 特に、「児童虐待」について宗像児童相談所と宗像警察署から説明をする場を設定した。虐待を発見する際のポイントや園の対応方法について理解を促した。 |
| 保育所・幼稚園・認定こども園 小学校・義務教育学校連絡会 | 第1回 6月3日(金) | 保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 (48名参加) | 学校と保育園、幼稚園、認定こども園が入学後の子どもの様子を情報共有する場として設定した。 参加者の先生からも「直接子どもの様子がきくことができた」「子どもがスムーズに学校生活を送れるための安心感につながった」「今後も継続して取り組んでほしい」という感想があった。 情報交換を通し、幼児教育と小学校教育との連携・接続の強化を図ることができた。 |
| 幼児教育と小学校教育の円滑な 接続に関する研修会 | 第2回 6月29日(水) | 保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 (29名参加) | 福岡教育大学附属幼稚園で保育参観とグループ協議を実施した。 参加者の先生からは「子どもたちの声かけや環境の工夫がとても参考になった」「園と小学校との違いを知ることができた」などの感想があった。 幼児教育及び学校教育の充実を図り、保育士・教員等の資質及び専門性の向上へつながる有意義な研修となった。 |
| | 第3回 11月21日(月) | 保幼認の主任と小学校の主幹教諭 (33名参加) | 「幼児教育と学校教育の違い」「違いを踏まえた上での保幼小連携の在り方」について中村学園大学の櫻井氏による講義を行い、グループ協議は近隣の学校と園でグループを構成し今後の連携の在り方について協議した。参加者の先生からは「保幼小の違いを知ることができた」「連携の大切さを実感することができた」などの感想があった。 保幼小連携の必要性や今後の連携の具現化に関する協議等を通して、保幼小の相互理解を推進し、幼児教育及び学校教育の充実を図ることができた。 |
| | 第4回 1月18日(水) | 保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 (31名参加) | 博多のびっこ幼稚園で保育参観とグループ協議を実施した。 参加者の先生からは「縦割り保育にとっても興味があり、活動の内容の工夫や先生方の言葉かけや対応がとても参考になった」「意見交換会では、互いの疑問点を出し合い相互に理解できる貴重な時間となった」などの感想があった。 保育参観と意見交換を通して、保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・義務教育学校における教育、保育活動についての相互理解を図ることができた。 |
| | 第1回 2月21日(火) (8月30日延期分) | 保育士・幼稚園教諭・保育教諭 (21名参加) | メイトム宗像で福岡教育大学教授の船越氏を講師に迎え、「絵本と子ども」というテーマの講義とグループワークを実施した。 「幼児期の絵本体験が将来を支える力になること」「保育者は一人一人が絵本の専門家であること」など幼児教育における絵本の役割について学ぶよい機会となった。 |
| 幼児教育研修会 | 第2回 9月22日(木) | 保育士・幼稚園教諭・保育教諭 (当日オンライン26名参加) ※後日配信については参加人数不明 | 保育の中で取り入れられる発達を促す支援や活動について、具体的にオンラインで講義を実施した。参加者からは、「子の特性に合わせた遊びや活動を園でも取り入れていきたい」との意見があった。オンライン実施後も当日参加できなかった対象者に対し録画配信も実施。 |
| | 第3回 9月28日(水) | 加配職員・保育士・幼稚園教諭・保育教諭 (16名参加) | 子どもの見取りや保護者との関係づくりについて、教育政策課特別支援教育指導員から講義を行い、その後、参加者同士の情報交換を実施した。参加者からは、すぐに実践できるコミュニケーションの仕方や子どもとの関わり方について学ぶことができたという感想があり、保育者の資質及び専門性の向上を図ることができた。 |
| 発達支援コーディネーター研修会 | 4月26日(火) リモートで実施 | 園長・発達支援コーディネーター | 発達支援室から、市の取り組みと就学に向けた支援について、事例を交えながら具体的な対応について講義を実施した。市と園の連携体制の構築を図ることができた。 |
| 連携事業 | | | |
| 保育の日 | 7～8月 | 保育士・幼稚園教諭・保育教諭・小学校教諭 | 「保育の日」の実施園は7園で、訪問人数の合計は23名。 コロナ過ではあるが、感染対策に十分配慮しながら実施することができた。 |
| 保育所・幼稚園・認定こども園による小学校見学 支援事業 | 主に学校の日 | 市内保育所・幼稚園・認定こども園 | コロナ禍で利用がなかったが、今年度は1月に福岡教育大学附属幼稚園が利用。2月にかとう西保育園が利用。 |

その他

- ・今年度も感染対策のため、参加人数を制限して実施した。
- ・講義については、可能な限り動画配信を実施した。